婦人と勞働

十一月號

無名の婦人運動……奥むめお
人間の勞働は四時間で足りる……安部磯雄
踏砕れたる貝われ葉……山崎劍路
濁流に泳ぐ人々に(詩)……目次緋佐子
われらの感想……二人
時評……
職業婦人通信……
新秋雜詠(歌)……下村きみゑ
婦人に好適な職業……徳永直
彼女(創作)……今野賢三
漫畫……勞働部々報
婦人職業の相談……編輯だより

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人と勞働（十一月號目次）

呪はれたる無産階級の母……錦織茂（一）
無名の婦人運動……奥むめを（二）
人間の勞働は四時間で足りる……安部磯雄（六）
踏碎れたる貝われ葉……山崎劍路（一一）
冬の木立（童話）……小川未明（一〇）
濁流に泳ぐ人々に（詩）……目次緋佐子（一六）
われらの感想（えらい人さは、手なし、足なし……浪花英子）（職業男子を見て婦人の使命を思ふ……佐藤智慧子）（一八）
解說と批判（年中行事としての婦人參政權運動）（英國の政變）……（二四）
婦人職業相談……（一一）
漫畫（お松の婦人運動）……エス・キベ生（二五）
職業婦人通信……（三〇）
新秋雜詠（うた）……下村きみゑ（二八）
婦人に好適な職業……德永直（三三）
彼女（創作）……今野賢三（三七）

婦人と勞働

十一月號

呪はれたる無産階級の母

日本では、二十三歳以上五十歳迄の女子の死亡率は、同年の男子の二倍强に達してゐる。世界の文明國では、男子は戰爭や災害に遇ふので中年で死ぬ事が多いが、女子は妻たり母たるの生活の爲にいたはられ、大切にされて居るので、中年で死ぬ事は少ない。所が日本は、分娩哺育と云ふ大任のある女子を、男子以上に酷使し、男子以上の危険に曝して省みないので、働き盛りの女が片端から死んで行くのである。

政府は國際勞働會議で、産前産後手當つき十二週間の公休を商工業使用人に與へる約束をしながら、共の條約に批准しないので、資本家は未だに姙婦産婦を好きなだけコキ使つてゐる。年々共等の婦人から生れる、十一萬人の子供の運命も同じ危険に曝されて居る。此の規定は農業女子にも及ぼされる筈であるが、都會及び農村の無産婦人自身、團結の威力によつて此の要求を支持せぬ限り、實施の見込みが無い。

（錦織茂）

無名の婦人運動

それがよくつても悪くつても

奥むめお

それが、いゝ事であるか悪い事であるかといふ事は別問題として、恐しい勢ひで、廣い意味に於いての職業婦人の數がどん／＼殖えて行つてゐる事は事實であります。

何故、さういふ風に増加してゆくかといふ事は、度々學者に紹介されたやうな、六ケしい理屈は拔きにして、それには、いろ／＼な理由があるでせうが、その中で最も大きなわけは、一口に云ふと、世の中がそれ程せち辛くなつたといふ事であります。

歐洲戰爭後の世界的不景氣は、我國でも何百萬人と云ふ失業者を生むに至りました。從つて今まで一家の戸主の働きだけで食べてゐた多數の婦人も、亦自分で生活の道を見出さねばならなくなつたのです。さうして、働く事を卑む愚しい習俗から勇敢に飛び出だして來たのです。又今までは、結婚さへすれば、女はラクに食べてゆけるものだとされてゐました。ところが近頃では、その豫想は、こと毎に裏切られつゝあるのであります。多くの年若い婦人は、自分自身の經驗から、或ひは、母や、姉妹や從姉妹等の肉親の人々、又は親しい友人やの生活から、實際に於て、彼女らがこれまであこがれてゐたやうに、結婚といふものが、無條件で、非常に幸福なものであるといふ夢想から、いやが應でも醒めな

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ければならなくなつたのであります。

従つて、婦人が何らかの職業に就くといふ事が、いゝ事であるか、悪い事であるかといふやうな抽象的な議論は、現在、生きてゆかなければならない多數の無産婦人の生活の前には、第二義第三義的な問題となつてしまつたのであります。それは丁度、今まで方々の池の中に溜つてゐた水が、世の中の移り變りといふ必然的な力の爲めに、その堤が破れて、大きな一つの流れとなつて荒海へ流れだしたやうなものです。

自然の意志を信じたい

そこで大多數の婦人は、この流れの中から、いやが應でも自分自身の生活を見出さなければならなくなつたのであります。從つてそれ等の、婦人にとつては、婦人が職業に適するか、適しないか、といふ事は、自然の意志がそれを決定してくれるのを待つより仕方がないのであります。

分り易く云ひますと、職業に――即ち社會的ないろんな仕事に婦人が携はつて、世の中の爲めにも婦人の爲めにも巧く行くやうなら、人類はそれだけ幸福になるわけであります。もしそれが、不成功に終つたならば、自然の法則を破つたものとして、その流れは、又別な自然現象が現はれて、自づから消滅してしまふでありませう。そのために、全體としての女性が、全で女性の本來とは違つたものになつてしまふだろうと考へる事は、恐らく余計

な取越若勞にすぎないでありませう。

婦人が社會に出て働く事に依つて、その女性としての美點が打こわされてゆくといふ事は、よく聞く言葉であります。然し、本質的な婦人の美といふものは、抽象的な議論の上でならばとにかく、實際上では中々分らないものであります。一體にわれ〳〵が、美、だと思つてゐるものでも、時代と場所に依つては隨分變化するものでありますから。たとへば、アフリカのある土人の中では、臀部の非常に發達したものが美人とされ、ニグロの中では、皮膚の色が黑い程美人とされてゐるといふ風に、精神美もこれと同じで、女性美とてもこのとほりに明かに變遷してゐるのであります。

女性は今模索中なのです

現在のやうに、いろ〳〵な方面で世の中が動搖して、社會組織、道德、習慣等といふものも、何等かの形で大きな變化が來なければならないときに、女性美にも亦、大きな變化が來なければならないのであります。

さうして、よし、結局眞に家庭生活だけが女性に適してゐるものだとしても、それはもつと、女性それ自身が滿足の內に、安心して、樂しく生きてゆかれるやうな家庭が、この世の中に出現した時に初めて見出さるべきものであつて、現代は、あらゆる人々が、あらゆる方面に於てもつと、よりよい意味に於て生きてゆく世の中を、探し求めてゐる時代であると

思ひます。女性の、最近のこの傾向も、この新しい流れに押し流されて、新しい、自分の安住所を見出さうとしてゐるものであつて、一人びとりに就いて云つたならば盲目の歩みのやうにたどたどしい、或は小供のやうでたよりない、その歩みも、全體としての女性として見れば、この行きつまつた、世の中へ何物かを齎らさうとする人類にとつての大きな試練でありませす。この女性の新しい歩みが、部分的にいろ〳〵な蹉跌や、失敗や、弊害を齎すからといつて、その根本の問題に觸れやうとしないで、世の中の人が、皮肉や、中傷や、冷罵を以て迎へるならば、それは人類の進歩にとつて、非常に大きな障害であるといふ事を、人々はやがて發見するにちがいありません。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人間の勞働は四時間で足りる

安部磯雄

八時間勞働といふ聲が、近頃大分喧しく聞えてゐるが、然し、今日、實際に八時間しか勞働してゐない人はどれ位あるだらうか。多くの人は、九時間、十時間、甚しいのになると、十二時間も十三時間も勞働をしてゐる。九時間も、十時間も、十二三時間もの勞働を、現在いや應なくさせられてゐるといふところに、八時間勞働の聲が起つて來る所以があるのである。

然し、八時間勞働だつて決して短くはない。八時間働いて歸つて來ると、もういゝ加減疲れて、何をするのもいやになつてしまつてゐる。

而も一方には、何も働かないで生活の心配がないばかりか、好き放題の事をして遊んでゐる人、懷手をしたまゝ金子を殖してゐる人達がある。もし全ての人が平等に働くやうな世の中にでもなつたら、遊んでゐる人たちはなくなつて今まで八時間も十時間も働かなければ食つてゆけなかつた人たちの勞働時間が六時間、四時間、又は三時間でも足りる事になるのは明らかである。

さうなつて初めて、全ての人が文明の恩澤にも浴する餘裕をもつであらう。

英國の貴族リバーホルムは、大規模な石鹸工場を經營してゐる實業家であるが、數年前、「一日六時間」といふ書物を著した。

その大意は、人間を八時間働かせる事はとにかくとして、機械を、一日たゞ八時間だけしか働かせないでおくのは、勿體ないことである。で、機械を十二時間使用する事にして、人間を一日六時間宛二交替に働かせるならば、その結果は同じである。彼は精密な計算に依つて、六時間勞働が決して損失ではない、といふ事を説いてゐるのである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

○

勞働階級に、時間の勞働を強制するといふことは、彼等に文化生活の幸福を與へないで、彼等を永久に奴隷の境遇に置くものである。支配階級としては、勞働者がいつまでも無知無學で、如何なる酷使にも甘んじてゐる事が望ましいのであるから、そのためには、成べく長い勞働時間で彼等を縛つておくのが上策である。然し、これを勞働者の側からみるときは、勞働者の解放といふ事は、何ものよりもまづ、その勞働時間の短縮といふ事を意味するのでなければならぬ。

社會主義者の中には、人間はすべて、四時間勞働で充分であると説いてゐる者がある。假りにこれが可能であるとしたならば、あらゆる社會問題はこれに依つて解決され、社會主義の實現も、また極めて容易なのではないかと思はれる。

四時間勞働制が實行されたとき、直接におこつて來る大改造は、まづ第一に敎育組織の上にみる事が出來るのではあるまいか。それに就いては、次のやうに考へられる——

○

義務敎育を終つた男女は、直ちに勞働に從事すると共に、みんな中等程度の學校に進む事が出來るやうにする。

現在では、人口一〇〇人の内中學校や女學校に進む事の出來る者は、僅かに四五人にすぎないのであるが、これは全く、經濟上の理由から來てゐる。百人中の九十五人までは、どんなに進んで勉强をしたいと希つても、貧しいために、それが許されないのである。

若し、全ての男女が、小學校を卒業すると共に一定の勞働に從事し、而もその勞働時間が四時間限りであるとすれば、兩親

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の援助を受けないでも、四時間の勞働で、中等敎育も、高等敎育も、自由にうける事が出來る。

即ち、人間は三交替で四時間づゝ勞働をし、機械は、毎日十二時間の運轉といふわけである。從つて、工場の勤務も、學校の授業も、午前に四時間、午後に四時間、夜四時間といふ風に分割される。斯うして青年男女は、學校に四時間、工場に四時間、なほあとの四時間を自習または、遊戯に割當てるといふ事になるのであるから、金子がないから學問が出來ないといふ風な、經濟上の原因で敎育の上に不平等を來たす心配はなくなつてしまふ。

もちろん、この敎育制度を實行することになれば、中學も大學も、三部敎育を行ふ必要がある。

このやうな平等の敎育制度になれば、低能兒でない限り、全ての男女が、中等敎育、高等敎育をうける事が出來る。而もみんな勞働をし乍ら學校に通ふのであつて、親に厄介をかけるのでないから、敎育の年數に制限をおく必要がない。本人がしたいだけ、生涯を通じてでも學校に學んでゐていゝのである。

○

こゝにいふ四時間勞働といふのは、云ふまでもなく筋肉勞働の意味である。私は、青年男女、學校敎育を終つた後でも、やはり四時間だけは、筋肉勞働をつゞけるといふ事を原則としたいと思ふ。概して、筋肉勞働は、精神勞働のやうに面白いものではないから、みんなで平等にこれを分前するのが當然であらうと考へる。專問に精神勞働に從事する階級があるから、自然、筋肉勞働ばかりをする階級を劣等視するやうになり、社會主義の精神が打ちこわされるのである。

現代文明の弊は、實に一方に筋肉勞働、他方に精神勞働とい

つた風に、偏した片輪者を作つてゐる事にあるのであるから、この點からみても、毎日四時間だけは、誰でも筋肉勞働をしなければならぬといふ事にするのは、むしろ人類全體にとつての幸福であると信じてゐる。

　但し、子供を養育してゐる母親と、五十五歳以上の男女には、筋肉勞働を免除すべきである。

　然し、全ての人に筋肉勞働を要求するとすると、その結果、精神生活の時間が少くなるから、科學や藝術の進歩がおくれるであらうと懸念をする人が在るかもしれない。しかし、學校敎育を終つた者には、筋肉勞働の四時間を差引いても、なほ八時間乃至十時間といふ時間が殘つてゐるのである。これだけの時間が余分にあれば、科學者も、藝術家も、その時間内に相當のことが出來る筈ではあるまいか。

○

　要するに、四時間勞働といふ事が實行可能となれば、その、四時間の筋肉勞働だけが生活費を得る唯一の職業となるのであつて、原則として精神勞働は全て無報酬、卽ち道樂仕事となるのである。又、誰でも四時間の勞働で充分に生活費を得る事が出來るのであるから、安心してあとの時間を皆それぞれ好むところの趣味生活のために送る事が出來る。

　科學も藝術も、こゝで初めて、金錢關係を離れ、利害の打算を拔きにして、自由な天地で、無限の發達をとげることが出來るであらう。

　然し、科學や藝術に堪能な人たちは、必ずや、何等かの機會を求めて、自分のその研究や、創作やを發表したいと希望するに違いない。而して、さういふ人たちのために、音樂會もあり、展覽會もあり、學校もある。その人たちは無料で――自ら喜び好んで、社會のためにそれぞれ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の技能を提供するし、社會はこれに依つて、人々に無料で教育を施こし、無料で音樂を聽かせ、觀劇させる事が出來るわけである。たゞ、その經營者だけが、筋肉勞働を免除された人々であればいゝのである。

○

然し、問題は先きに戻つて、この四時間勞働が果して可能であるか、どうかといふ事である。

英國では、曾て、十二時間勞働を十時間に縮めやうとする運動が起つた時、資本家たちは、このために生産力が減じて、外國貿易が衰へるであらうといふので、猛烈に反對をした。然し、結果は全く然らずして、十時間勞働制が實行されてから、英國の産業は長足の進歩をなしてゐる。

又、數年前の國際勞働會議では、八時間勞働制を可決した。昔の十二時間勞働當時のことを思ひ合せて考へてみるとき、八、時間から六時間に縮まり、六時間から更に四時間にと進んでゆくのは自然の順序ではないだろうか。

勞働講座第二科目

題目　社會立法（勞働法制 社會政策）
講師　林癸未夫氏
期間　十月二十一日より 十一月十一日まで（毎週火曜日）
時間　午後六時より九時まで（講義――二時間 質問討議一時間）
會費　一科目 金・壹圓　一回 金三十錢
場所　牛込區原町成城小學校内

東京市外大久保百人町
東京聯合婦人會勞働部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人職業相談

内職を望む婦人に

先月は内職を望む方の相談が多いやうでしたから、纏めて、市内にある確實な授産場の案内を書きます。唯玆に御注意申し上げ度いのは、不景氣の爲、仕事を漁る婦人は益々殖えるのに、仕事は反比例して減つて來てゐる事です。ですから新聞の案内廣告で『ミシンの仕事がどんなにもあるから早速申込め』と云ふやうなものは、中の八九までは入會金をとられ、高い教授料を納めさせられ、サテ終りにはミシンまで買はされて内職材料を出すかと思へば殆ど出さない。そんなペテンにかけられて、泣いてゐる方は尠なくないやうです。ですからこの方の途は、初心者には危險で勧められません。

第二は、大きい商店の下受をやつ

踏碎かれたる貝割れ葉

山崎劍路

『農村は、農民は、明らかに絞殺されつゝある、現代文明の繼兒である農村は、眞綿で首を締められつゝ次第に死の淵へ追い詰められてゆく』火の樣に熱した同志の口から農村代辯の、農村救護の、都會中心文明拒否の叫は聽衆の頭の上に降り注いだ。『農村青年、農村娘、それ等の農村脱走は何を吾人に物語つて居るか、村芝居が全廢されて、鎭守の森に秋祭の太皷の音が次第に年を追ふて淋しくなる一方、都會の邊には、一軒二軒、活動寫眞館の、歌劇の、音樂室のあらゆる田園征服のオーケストラが、勝関の聲が、ふへ、高まり、太く多きくなつてゆくではないか、農村とは都會の從屬物であるのか、農村人とは都會の隷屬者であるか、農村の男達よ、百姓の娘達よ』

同志の叫は電氣のやうに聽衆の胸に傳はる。

『農村が光榮がる二千五百年の歷史は今、壓迫と、搾取と、切捨御免との善政的な文學によつて彩られるのみである――。辯士注意つ、光

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

てゐる内職材料の問屋で、これはミシン、子供服、製本、洋服裁縫、穴かゞり、ブラッシ、組紐、朶緒、セルロイドの玩具、爪掛、状袋張、編物等です。この方は新聞廣告の何々會のやうに、無闇に入會を強いる所が、腕と信用のない人にはなか／＼出しません。この途だと工賃は高くはないが、一年中信用のある仕事をしてゐれば、材料が切れぬと云ふ强味があります。これは皆様が馴みの商店へ直接出かけて、下受けの店を開いて直接交渉して下さい。その位の勇氣と熱心のある人で、最う一つは單調な繰返へす機械的な仕事を厭はぬ覺悟がなければ、今の世に内職で日一圓の仕事は六ケ敷いと言はればなりません。況んやミシンの一日二圓と云ふのは、一年も二年も同じ仕事を繰返へして、人の倍以上の仕事を手際よく仕上げる人の例だと御承知下さい。

第三は社會事業としての内職で、

つた眼の金筋がガチャリとサーベルを揺る。パチパチパチと拍手が同志の汗にまみれた額を打つ。

『政治問題とは何んだ、經濟、思想、勞働、さてわ婦人問題とは何んの事であるか、それは所謂社會運動家の、勞働運動家の、婦人運動家の占有的玩弄物ではあるまい、農村問題にせよ、婦人問題にせよ、社會問題にせよ、それ等の總べての問題が所謂運動家の手から、主義者の頭から、學者の口から、一般の者達、農業者達、勞働者達の、手に、頭に、口に唱へられ、演ぜられる時代にならねば、この不合理なこの誤られたる社――

辯士注意つ！　警官は椅子から立ち上つた。

ピクピクと痙攣する汗ばんだ同志の唇の邊は、蒼白の光りを、メスの様な光りを含んでキッと引きしめられて居る。

『ヤレヤレッ、おいヤレヤレッ』

聽衆は大きな渦を巻いてどよめいた。『ポリの馬鹿野郎つ』と聽衆の渦巻の中から一矢飛んだ『犬つ』又た續いて、サーベルの手がブルブルと慄へる。

『資本主義社會のカラクリを引く大きな魔の手、それは、それは金色

所謂震災後授産場と言はれてゐるものです。之だと安心して技術を敎へて貰ひ、工賃も一つの仕事について高く貰えますが、人數に限りがあるので、すぐ入場出來ぬと云ふ缺點があります。然し眞に一身の生活の爲一家の生計補助の爲に內職に生きやうとする方は、少し待つて入つた方が徳です。何處の授産場でも四五十人入つて、半年と續く熱心な方は數人に過ぎぬさうだから、あなたの求める態度が眞面目で熱心なれば開かれます。今市內にある主なる授産場と仕事を紹介しますから、直接訪問して下さい。

△東京府千駄ケ谷授産場

（福岡保子）

府下千駄ケ谷明治神宮裏參道入口

（仕事の種類は和服、ミシン敎授及製作、手藝）

△東京府目白授産場

（永井孝子）

府下目白目白驛沿線

（和服、編物、ミシン仕事、手藝等）

燦然たる黄金の鬼、その鬼の手に依つて諸々の踊りは、唄は、悲劇は、喜劇は、極樂は、地獄は、うたかたの泡の如く現れ、消へ、浮び沈む、その社會劇の、その搾取劇の釜の中から金切り叫ぶ女の悲鳴、曰く婦人權利の擴張、曰く男女平等、曰く婦人參政權、曰く何々、曰く何々、男の、男子の上にも明らかに不平等の、搾り取りの差異を造つて居るこの社會の、この誤つたる社會を根底から打破せざる限り婦人の解放なぞは、それは別世界の綺であり聲である、道は只一つ、それはこの社會を――、辯士中止つ！ 警官は總立になつて血相を變へて奴鳴つた。ワアッ、と言ふ聽衆の叫は焔へ立つた。

押す、蹴る、奴鳴る、それは解散を命ぜられた後の會衆が場外へ出される響きだ。

その聽衆の中に、鬚もしやな百姓男達の中に交つて紅一點、否々赤顏中無鬚一個の女の顏が交つて居た。夜の黒い空氣を破つて一人、田の邊を家路へ歸つてゆく一人の娘、その娘の胸には、頭には、固い決心と赤い血とが逆流して居た。その娘の歸つてゆく道を探り乍ら追つて行く黒い影、それは私服の犬、只一人の女聽講者の身許は黒い影によつて手帳に記るされた。神ならぬ身のその女は知る由もなく、〇〇

△家庭製作品奬勵會
（田　村　松　枝）
麻布區笄町三十一
（和服、ミシン、編物、レース、タッチング等）

△愛國婦人會實業部
麹町區飯田町一丁目九段下
（和服、ミシン裁縫）

△同　東京支部
同　所
（仕事は足袋一種）

△同本所隣保館
本所外手町
（ミシン裁縫敎授、內職紹介）

△ガントレット服裝研究會
（ガントレット恒子）
府下上戸塚七〇八
（洋服、下着）

△上野婦人相談所授產部
（河　本　絶　子）
上野公園竹の臺
（和服、狀袋、荷札）

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇指導と研究との盟約を結んだ。

『でえ、そんな具合ですからこの大切な娘さんを、あゝした奴等の中へ入れるなんてことは、そりや飛んでもない事ですぞ』

數日の後ち和服の男が『刑事犬塚冷皓』と記した名刺を突きつけて老いた父と母とのショボショボした目をころころと涙ぐませた。

『おらがとこのおよしははあ、そんな大外れた人間のまねなんぞは決して、はいさせませんで御座います、はあ、何んともはあ、御上様に申譯けの無い次第で御座いますだあ、はい』

『實際この有難い世の中を嫌ふなんて、大馬鹿者の仲間になぞなると大變なことになりますぞつ』

『まことにはあ、どうも申譯けの無いことではあ』

只一人醒めたる女、およしの心の芽は無慘にも踏みにじられてしまつた。老たる父の、老たる母の、涙の前に、小さな胸を抱くおよし、その血、その固い決心、それはまだ因襲の、傳統の、壓迫の、恐ろしい重い、大きい、深い手には抗す可くもない小さなものであつた、小さな貝割れ葉であつた。

正義に醒めたる者を踏み慘む唯一の手段、それは家庭的の力を持つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

△婦人向上會「愛の家」
（畑山八重子）
本郷區上富士前町七二一
（和服、編物）

△光園集社
（松田和文）
府下龜戸町瓦町一丁目
（カシミヤ袴）

△三ッ葉會（筑紫つゝ子）
神田區猿樂町二丁目九
（輸出向きレース、編物）

△女子大學櫻楓會手藝部
上野公園竹の臺
（編物、ミシン、刺繍、洋服）

△婦人製作品委託販賣所附屬婦人職業奬勵會
神田區今川小路二ノ四
（和服、洗濯、染色）

てする憎む可き手段、老母老父を慄へさす最も良い手段、それによつて完全に醒めた小さき胸は砕かれてしまつた。乍去、砕かれたるものは數を増す、それが小さくとも砕かれたるものは數を増す。

夜が晝に移る如く、闇の夜が月の夜に移る如く、不完全より完全へ、誤れるより正義へ、僞られたるものより眞理へ、冬は春に、春は夏に、人のそれを好くと好かざるとにかゝわらず廻る可き方向に人間文明、否、羅針はこれ廻る、その歩みに反する者達が叫ぶ、悲鳴る、『夫唱婦和、三從の德、封建道德純風眞俗』

丸ビルだの角ビルだのに耳を隱して通勤される人達と、笹竹を刈る可くあたら御十七の娘さん達が箱根八里を外に笹竹籔の中に虎の如く、猪の如く突入してゆく山の女達との間には、それらの色に、その姿に、その臭に、その質に於て、それがブルジョアの女達と都會の無産婦人との間に掘られたる溝にも等しき大なる山岳が擴つて居り築かれて居ることを認識しなければ駄目だ。秋の田の黄金の穗波に吹き返す風は狂へども、解放の風は田園にソヨとも訪れぬ、稔つた黄色い稻を浸す雨は續いて降れども、正義の光はまだまだ農村の女達には降り注がない。（完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

濁流に泳げる人々に

目次緋佐子

先づ　聽診器を耳にあてゝ
混沌として流れる濁流に
泳げる人類のうめき聲をきゝたまへ

おゝ　高々に日は輝くとも
美しく晴れ渡る秋晴れの空に
樂しげに蜻蛉は飛びかわすとも
尚地下何千丈の暗黑の坑道の中に
時の觀念も忘れて働く人々の
その幽かな槌の音をきゝたまへ

深いトンネルの中にかすかに輝く
カンテラの光に生命を託して蠢動する
人々を忘れ給ふな

都の場末默々として立ちのぼる黑煙の
太い煙突の下、熱火にたゞれた人々
響々となりひゞく

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

機械に使用されてゐる乙女達の
そのかすかな呼吸をきゝ忘れ給ふな
燦爛(きんらん)と輝く日も透さぬ濁流に泳いで
喘ぎながら僅かにつながる生命の絆に
つかまつて生きのびる人々
美しき花の野邊
かく晴れ渡る秋空の訪れも
他處にして
微弱な生と戰ふ乙女

いたましき兄妹達よ
忍びたまへ
涙をのんで忍び給へ
又いつか嵐の來て
その濁流を押し流し[illegible]流れる水底までも
日の差し透す時の來る事もある程に――

いたましき兄妹達よ
勇ましくその日まで心強くも
戰ひたまへ
戰ひたまへ

（一九二四　一四　四）

われらの感想

えらい人とは
―手なし、足なし―

涙花英子

農科大學や、農學校を卒業して、家に歸つて眞面目に百姓をして居る者があるであらうか――一人や二人の例外はあるかも知れぬが、この百姓の息子が、百姓の學校に行つて、百姓をしなくなるといふ不思議を、よく／＼考へて見たい。

之れは今の學校が「偉い人」を作るのが目的で實際に役に立つ人、ほんとに働く人を養成する様に出來てゐないからである。「偉い人」とはどんな人かといふと、何もせぬ人である、働かない人である、一から十まで、人をあごで使つて、自分はふところ手で座つて働かない、手無し、足無しの事である。

昔の庄屋さん、代官、大名、將軍の様な人の事である、私たちは、其麽風な人間を作る爲に高い

税金を拂つてゐるのである。大學だつて、高等學校だつて、中學だつて、農學校だつて、私たちの税金で出來てゐるんだ。

幸か不幸か私たちは、自分の息子を小學校より上の學校に入れられさうもないから、私たちの息子は、そんな「偉い人」にも、働かない人にもならぬのであらうが、しかし、小學校だけでも、その「偉い人」になりたいと言ふ性根は、しつかりうえつけられてゐるので、上の學校にも行けないで、百姓して居ることに不平たら〳〵で困る。

日本中の百姓が、みんな學校に行つて讀み書きが出來る樣になつたのは、德川時代が明治の時代に變つたおかげである樣に、今度、も一度時代がよくなつて、百姓の難儀が無くなり、此世から貧乏が無くなつて、私たち百姓が、皆、農學校を卒業出來る樣になつたとして、その時にも、その農學校が今の樣だつたら、百姓殘らず「偉い人」になつて、日本にお米は一粒も出來なくなるであらう。之れはどうしても間違ひである。

若しこの世から百姓の貧乏がなくなり、百姓の子弟は、殘らず、今の農學校以上の農業の學問が出來る樣になつたら、皆が今よりいい米を、同じ土地から今の何層倍も作り、世の中の人が、お米に不自由しなくてもよくなる筈だ。

それが、今では、大方の百姓の子は農學校なんかに行けず、無理して行けば、借金が增して、百姓する田地が無くなり、學校を出た者は、百姓をしなくなり、ほんとに百姓をして居る者は、百姓の學問をせぬ者ばかりであるといふ鹽梅である。これは世の中の組み立てが惡くて、百姓、殊にほんとに米を作る小作百姓が、食ふや食はずの貧乏で、自分達になくてはならぬ百姓の學問なんか出來ぬといふ事と、今の學校といふものが人間の上に人間を作つて、働く人を使ふ人——恰度馬車馬を鞭

打つ馭者の様な人を養成する所になつてゐる爲でもあるが、一方には、皆の頭に徳川時代の、學問をする事は「偉い人」になる事である。偉い人とは、働かない人であるといふ考へが殘つて居り、同じ人間が、同じ人間を、馬車馬に見たてゝ、人間を鞭ち打つ馭者になる事を光榮と思ふ心があるからである。

私たちは、こんな手無し、足無しをこしらへる今の學校にたよつてはいけない、私たちは、私たちの毎日の仕事に、すぐ役に立つ學問をせねばならぬ、そして、此の世から手無し、足無しの、エラい人、働かない人を〇〇して、ほんとに働く人だけの、樂しい、美しい世の中をつくる爲にせいだせばいゝのである。

職業男子を見て婦人の使命を思ふ

佐藤智慧子

『決戰か、死か、血まみれの鬪爭か、滅亡か、それは逐ひにまぬがれがたい運命である。』

情熱の作家ヨジーヂサンドの言葉は、今、すべての無産者の運命にあてはまる。

◇　◇　◇

私は、數年來職業婦人として働いてゐる者である。今こゝで、男女の能率の差はどうであるかとか、女性はどういふ職業に適してゐるか、とかいふやうな事を語らうとは思はない。職業婦人としての第一感想を、若き友に述べたいと思ふてペンをとる。

職業婦人としての私の第一感想は――

勿論私は女なるが故に受ける不當な壓迫を、いつも自分の身に痛感してゐる。これに對しては、人一倍の憎惡と公憤とを感じて、この差別を撤廢するためには、どんな努力も惜しむものでない。又、所謂職業婦人なるものが、一般の職業男子に比べて、仕事に對する熱心さ、研究心が缺けてゐて、職業生活に對して不忠實である事をも知つて居る。

しかし、之等の何れにもまして、感じた事は、むしろ、機械化された職業男子の生活であつた。光る重役の目、せまる失業の危險の前に慄えながら、朝早くから夜更ける迄、單調な仕事に沒頭して疲れきつた身心は、もはや彼等自身の生活なり趣味なりを延ばして行くだけの氣力と力とを失つてしまつてゐる。牛か馬のやうな生活をよぎなくされてゐる勞働者諸兄は云ふまでもなく、一般俸給生活者だつて、どこに、生命を生命として生きられやう。ブルジョア男子ならばいざ知らず、私達の兄弟なり夫なりは、決して羨ましい境遇には置かれて居ない。家族を養ふためには一定の賃金を得ねばならず、そのためには、長い時間を賃金奴隷として忍ばねばならぬ。無産階級の多くの男子が今受けつゝある困難を思ふがよい。

その、男子一匹といふ面目を立てるためにどんなに辛い苦役に就てゐることか、生活の重荷を負ひ、家にあつては、子女の間に生存して種馬のやうな狀態を續けて居る。あの丸ビル邊を歩くサラリーマンを見る時、安香水をつけ、縮らした牛バックの髮を氣にし乍ら、ニユーヨークあたりで二三年前にすたれた、オールド、フアッションを着込んで得意では居るが、その洋服も、其靴も、月賦の金が拂ひ終る頃には、もう影も形もない。ろくに本も讀まないくせに、洋書などを小脇にかゝへて活歩して居るが、戀愛どころか結婚さへも、

なか〳〵その經濟狀態が許すまいとして居る。もう孫がありさうな年をして、若い女事務員をからかつたり、性慾の話などによつて僅かに自慰して暮す去勢されたやうな男子を見る時、腹たゞしくもあれば、情けないとも感じた。其ネクタイの色を氣にしたり髮形に腐心する注意を、なぜ、頭の中を飾ることに用ひないのであらうか。彼等自身の運命を、光明と安息の中に見出す方に導かうと努力しないのであらうか。女に氣づかふ暇に、なぜ女を跪かせる力を蓄へやうと考へないのであらうかと思つた。

然し、親しく彼等の生活を視る時、例外は別として凡人ならば、あの單調な仕事、永遠に免れ得られさうもない生活苦の運命、過度なる刺戟とは、彼等から元氣と活力とを奪ひつくして了つたのだ。せめては、頭でもなでつけ、女でも眺めて喜ぶより外に何にも知らない。自ら勞働者とは違ふなんて驕る彼等には、勞働者の如き新興の意氣もなく之を貫く實行力もない。かくて彼等を縛る二重三重の鐵鎖にたへかねて、學窓を出た當時もつてゐた燃ゆるが如き希望も、正しく美はしき人間性も、痲痺し切つてしまふのである。かくて、彼等の尊き青春は、只安價な享樂を追ふエピキユリアンと化しつゝある、誰か、あの飾つた姿の影に、涙と悲痛とを感ぜずには居られやうか。

苦痛多き現代の社會組織は、凡てをかつて、その中に織り込む。この秋に當り女の任務は單に、數種の化粧品で其身を飾り、媚と默從とを以てのみ夫に仕へることではない。眞に愛する夫であり子女であるならば、これ等の人の現狀に注目して、其將來を豫想し、彼を理解してよりよき半分の實をあげなければなるまい。女性の美はしく優しき心は、其愛する者、信ずる者のために光明と幸福とを希ふ事であらう、しかも、彼等は疲れて居る。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

彼等の運命は重き扉を以て閉されて居る。女性は愛する者の爲に起たねばならない。現實を知る人ならば、社會の裏面に漲る暗流を知る人ならば、婦人も亦、矛盾と不　に充ちたこの社會のまん中にあつて、如何に其使命の重大であるかを覺るであらう。

一方には迂曲せる道、荊棘の路、他方には飢えたる我子、わが夫、疲れたる父兄を抱えて行く重大な時期である。私達は靜かに社會の眞實を視やう、そして起たう。女の力は一家を動かす。否、社會を動かし、全人類の幸福を左右するのである。

値下げをしました

一部金貳拾錢

いはゆる婦人雜誌が、低俗だ、惡趣味だと非難され乍らも、何萬何十萬とどんどん賣れてゐる中へ割込んで、一方に職業勞働をもつ私たちが「婦人と勞働」を初めてから、すでに一年有半を過ぎました。漸く基礎も固まり、讀者と編輯者との間にも、ある一派の相通ずるものを感ずる迄に、とにかくも漕つけて來た事は、大きな喜びであると共に、感謝に堪えない事であります。

今度思ひ切つて誌代の値下げを斷行しました。この不景氣なときに値下げでもあるまいと注意された方も多かつたのですが、私たちは一層讀者の數を増すやうにお助けを願つて、愈々この「婦人と勞働」の存在を意義あらしめたいと希つてやみません。僅かに一部二十錢にすぎません。わが婦人界がたつた一つしか持つてゐないこの特色ある雜誌に、あなた方も、一人でも餘計の方にすゝめて下さるやうお願ひします。

時評

その解說と批判

年中行事としての婦人參政權運動

いつも議會が開かれると、年中行事のやうに動き出す婦人參政權運動は、今度の議會でも、一部の婦人に依つて何か試みられると云ふ事である。

又新聞紙の報導に依れば、野黨である政友本黨の普選案は、大體與黨案に近いものであるが、只選擧權を有する者の資格を一家を支えてゐる者(世帶主)として、男女の性別を廢止するといふ事に纏りさうだと云ふ。

こゝで一寸滑稽に考へられるのは、多年普選に反對して來た政友會が分裂して、其一方である政友會が與黨として普選案を擔ぎ出した以上、野黨である本黨では、從來のやうに大數の民衆の意向に違つて普選反對を唱へる事が不得策だとすれば、與黨より一歩進んだ(事實に於ては、性別の撤廢を外にしては本黨の普選案は、與黨のそれよりも保守的なものであるが)女性にも選擧權を與へやうとする普選案を出すより仕方がないのである。

が、こんな事で、實際問題としての婦人參政權が實現される機運を促がされやうなどゝは、考へて見るのさへ馬鹿〳〵しい事である。既成政黨に於ては、凡ては黨の勢力を擴張しやうとするからくりの策略にすぎない事は、誰だつて解つてゐる筈である。あんなに普選を御題目にして政權を勝ち得た所謂護憲三派の諸政黨が、それ〳〵普選が實現された場合には、無產階級の政治的勢力が、自分達の政治的立場を如何に脅かすだらうか

と恐れて、普選を骨抜にする事に腐心してゐるのを見ても明な事である。實際問題として有產階級を其背景として立つてゐる既成政黨は、政府黨と云はず、野黨と云はず、普選が實現したあとに、無產階級を背景として生れやうする新しい政治的勢力と、その利害を異にしてゐると云ふ事は云ふまでもない事であつて、その結果、必然的に生れる無產政黨に依つて、これまでの政治的勢力が脅かされる事は云ふまでもない。

そうして多數の無產婦人——事實上に於て、日本の大多數の婦人は無產者である——にとつては、參政權の獲得は、この立場と利害を同じうする無產黨の出現を待つ事なしには、到底不可能な事である。若し既成政黨が、苦しまぎれの策として婦人參政權に手をつけるやうな事が今後あつたとしても、それは極少數の有產階級の婦人に對してだけであつて、所謂羊頭を掲げて狗肉を賣るものであると云ふ事は言を待たない。

從つて、年中行事のやうに毎年議會開會ごとに行はれるところの、既成政黨を目安において、對議會的に行はれる婦人の參政權運動に、もし多少の効果があるとすれば、それは、現在の爲政家達の手に依つて婦人にも參政權が與へられると云ふ事ではなく、さうして、望みもなくがやがやと騷いでゐることに依つて、一般の婦人の頭に、政治と云ふものに對して幾分でも興味を自覺させる事であらう。

さうして、婦人の間からも、無產階級としての階級的立場にめざめた新しい政治運動が、さういふ間から起つて來る機運を早めるであらうと思ふ。既に男子の間には、普選實現に先達て勞働黨を組織しやうとする準備運動が、今や可なり熱心に行はれてゐる。新しいこの無產政黨が、社會の半數を占める婦人の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

協力をまたずしてはやつてゆけない事はいふまでもない。

英國の政戰

英國に初めての勞働黨内閣が出來たのは、本年の一月であつた、其政策はいろ〳〵な意味で世界の興味を惹いてゐたが、去る十月八日の下院で、キャンベル事件に關して保守黨から内閣不信任案が提出され、次で自由黨から提議された修正案を保守黨も支持する事になつて、この動議に反對をした勞働黨は三百六十四票に對する百九十八票の差異で敗北するに到つた。

もともと一月に勞働黨政府が成立したのは、自由黨との間に暗默の提携があつた上での事である事は、六百十五名の議會に於て、保守黨二百五十八名、勞働黨百九十二名、自由黨百五十六名、其他九名の黨員數を見ても明らかである。處が此の八月に調印された英露條約中の對露借款保證に對して、自由黨は反對の態度を明に示して、始めから反對の立場に立つてゐた保守黨と其立場を同うする事になつので、勞働黨内閣が遠からず敗北するであらうといふ事は既定の事實であつた。丁度其處へ、今度のキャンベル事件が起きたのである。で、キャンベル事件とはどんな事かと云ふと、共產黨の機關紙である「勞働週報」の主筆のキャンベル氏が、其紙上で軍隊を煽動して、暴力に依る處の革命を敎唆したと云ふ廉で内亂敎唆罪として起訴されたが、取調べの結果、其公訴は廢棄されるに至つた。保守黨と自由黨の人は、之を以て、政府が司法權の獨立を犯して、檢事總長へーステングを脅迫した結果であると認めて、保守黨は不信任案を、自由黨は其修正案として、同事件に對して、特別調査委員會設置の動議を提出したのである。さうして保守黨は自由黨と

一致の行動を採る爲めに、自黨の提案を撤回して自由黨案を支持する事にしたのであつた。政府は之を檢事總長の職權を犯すものとして敢然と反對して、遂に十月九日議會を解散するに至つたのである。

一昨年の總選擧のとき、七十四名より一躍百四十二名を得、更に昨年の總選擧に於て百九十二名を贏ち得た勞働黨は自由保守兩黨を向ふにまわして今度の總選擧で、如何程の人員を占める事が出來るであらうか。何れにしても議席の絕對過半數を得る事は困難であらうが、此處に最も興味のある問題は、是迄互に相對して來た自由、保守の兩黨が結束して勞働黨に當らうとしてゐる事である。此は明らかに、英國の政黨が階級鬪爭化した事を示すもので、大藏大臣のスノーデン氏も云つてゐる事であるが、今度の總選擧で若し勞働黨が無慘な敗北をするやうな事があつたならば、世界の勞働運動上に、一大變化が來るであらうと考へられる。

冬の木立

冬の木立
しよんぼりと
寒からう
簑着よ
合羽着よ
綿帽子被ぶりよ

鳥が
頭に止まつた
かんざしのやうに止まつた
止まつた鳥
なぜなぜ啼かぬ
いつまで啼かぬ

——小川未明氏（童話集）
アメチヨコの天使より——
（東京市牛込區山伏町
イデア書院發行）

新秋雜詠

下村きみゑ

時の來て花は咲きたれ培はむすべし知らねばあまた咲かぬかも

一鉢の見るに寂しき花ながら淸しくは映る朝の目覺めに

朝な〱咲きつぐ花のやうやくに小さきを見れば秋來ぬるらし

花植えて眺めむ程の暇ほしあまり寂しきわが朝夕ぞ

嘆けばさてせんなきものか言に云へばいさかひさなる寂しきわれら

夏すぎて秋來るらしこの宵を澄みて冴けし十五夜の月

こほろぎの啼くよと聞けば啼けるなり外の面は月のさやかなるらし

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

音に澄みて庇の蔭にきこゆるは鐘つき虫の鐘叩く音

久方の空ゆ吹きおろす秋風に原の穂薄光り打ち靡く

籠にして夜なく／＼を鳴くくつわ虫節可笑しご音のあわれなり

小林てる子

音たかく霰降り日いでてもの寂し小夜中をひとり書よみ居れば

死に行きて年たちぬれご面影の今も眼に見ゆ悲しきご思ふ

夜空遠く鳴き渡りたり鳥ありき心ま澄みてわが眼さめをり

久々に降りきし雨の音なれご夜半すぎなればひとりにてきく

わが友の寂し面わの夜もすがら面影に立ちて眠られぬかも

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

職業婦人界音信

◇**職業市場に集ふ群**　小石川竹早町の保姆傳習所の秋季募集に應じたものが二百人、合格者五十人、數も多いが卒業生のはけが惡くて、カフエーのウエトレスに落ちた保姆があつたとかで、保姆仲間では「濫造し過ぎる」と憤慨してゐる向きがある。產婆の試驗の志願者三千人は眞に凄い。「結婚してもつゞけられる職業で收入が良い」これが眞面目に職を求むる現代婦人の心理か。然し實地試驗までパスするのは、百人足らずと云ふのだから哀れである。これとは反對の、現代求職婦人氣質を如實に現はしたものは帝劇の女子管絃樂團員の募集であらう。集りも集まつた僅か二十人の所へ四百人、それが全國の津々浦々から憧れ出たのだから驚く、彼の女等の夢は華やかだ、然し滿二年の修業中、若し不品行の場合は、月二十圓の割合で學費を支辨せしむると云ふ。果して二年の辛棒で、ラッパを吹き太鼓を叩くボックス內の藝術家に納まるか何うか？

◇**新職業婦人圖案家**　本鄕龍岡町三一の圖案の大家齋藤佳三氏は、多年の計劃であつた女子の圖案家の養成を思ひ立つて、齋藤裝飾美術研究所を開放した。氏の言ふには、圖案は創造力がある人程よい、婦人の生活は男より感情的だ。從つて創造力に富む。故に婦人は圖案家に適する、かう云つた論法で平面圖案だけに限つて、一年の修業、高女卒、裝飾趣味があり、覇氣のある婦人をと云ふ資格で求めて見た。氏の門を叩いたものが二三十人あつたが、入所を許されたものは僅かに四人、その內これならと眼鏡に叶ふたものは一人だけださうだ。

◇**女子飛行操縱士生れるか**　生まれさうになつてはつぶれるのは女の飛行家だ最も有望だと言はれた兵頭精子さんも、瀨戶際まで行つて戀愛に溺れて失格した。民間の飛行場に婦人の練習生がゐることは聞いてゐるが、未だ陸軍省の航空局發行の「帝國飛行操縱士」の免許狀を得たものはない。所が今度試驗場に現はれた朝鮮鎭南浦の女學校を出た木部しげ子さんが、パスしさうだと云ふので評判になつてゐる。果して日本女流飛行家の第一の榮冠が得られるか何うか。婦人職業中での最も難難な途を開拓する女性の上に惠あれ。

◇**活動の女辯士減る**　生まるゝ者あれば死ぬ者もある。一時、聲色の掛合ひ說明が活動寫眞に持てゝゐた時代には、市內に二百人からの女辯士がゐたが、今では場末の三四流館に追はれて、其の數も僅かに二十人。

◇**婦人の榮養研究者**　科學の領分に住む婦人は、敎師以外には尠ないうちに、十月八日國立榮養研究所の發表會に、長野ふさ子、高鍋千代子の二氏が堂々と學究を傾けて發表會に現はれたのは心强い。家庭の榮養の改良、小兒病人の榮養食、社會の保健食、此等は今後母としての婦人が當然分擔して解決す可き職業領土ではないか？

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◇問題にされ始めたカフエー女　爛熟の世相を語るカフエーの激增と風紀の紊亂、カフエーの女給に落ちる婦人は月々何千人にも上らう。ウエートレスとは名ばかりで、性に絡まる職に落ちる婦人の前途は暗い、今度警視廳が各警察署を督勵して、一、雇女の制限二、家屋の怪しい間取りを撤廢させる三、肌を現はすやうな服裝を禁ずる、かうした強い取締を出したが、女給達に取つて福音か何うか。

◇自働車の女運轉手と女車掌　世の中は廣い。上手い智慧を絞る者もある。ずつと前から女運轉手はあるにはあつたが、大型の自動車では助手が精々であり、若し操縦しても長續きしなかつたのを、今度東京驛前の自動車屋が、小型の二人乘りの自動車に婦人の運轉手を使ひ始めた。これで客が多いと云ふのだから、女運轉手は腕より珍らしさで營業政策に使はれてゐる譯か。之とは少し異ふが、市のワンマンカーの「圓太郎」今度改造されて十五人乘りになり、來年一月から出直すので、女車掌を四百人許り募る事になつた。かうなると、市街自動車の方にも三百人足らずゐるから、近く女車掌組合でも生まれはしないか。

◇不景氣で女中の給料下る　不景氣で一般職業のはけ口がとまつて來たので、徐々ながら女中奉公で他日飛躍の機會を待つ人が自然に多くなり、給料も標準十五圓が、十二圓十圓と落ちて來た。

◇女中の夜學校　基督教婦人矯風會の府下大久保百人町婦人ホームでは、夜の女中學校を開いた。學課は算術、讀方裁縫、榮養、マッサーヂ等、時間は午後七時より二時間。

◇高田女塾の夜間英語　麹町區元園町高田敏子女史の高田女塾では、職業婦人の爲夜間英語教授を開始した。

◇青年會の婦人宿泊所　牛込區關口臺町獨逸協會學校裏に、二三十人を收容する職業婦人の宿泊所が開館になつた。神田北神保町の本館では、人事相談と職業紹介をなすさうである。

◇婦人社會事業懇談會　婦人に關する社會事業中特に婦人の職業、身の上相談、宿泊の社會事業團體が、連絡親睦を圖る會の會合が市府の職業紹介所の肝入りで、十一日砲兵工廠内の宿泊所で催され、意見交換の後、婦人社會事業懇談會を組織する事になり、今後每月一回の會合を催ふす。常任幹事は、市の水道橋婦人職業紹介所主任の天羽全孝氏、加入團體は全部で約三十。

◇東京聯合派出婦人會　大和俊子、堀越敏子山田富貴の三氏を理事とした同會は、派出婦會の發達の爲に派出婦と派出婦會と派出先の家庭が嚴守す可き規律を定め、全國體の派出婦臺帳を作製して、大いに派出婦會の覺醒を叫ぶことになつた。加入團體十八。

◇國民新聞の「時間制女中」國民新聞では近來八釜間しき女中難緩和の一策として、市の職業紹介所員を審査員としてこの可否を世間に問ふて意見を發表した。近く纏めて審査員の案をも發表するさうである。　（椛　山）

職業開拓

婦人に好適な職業(一)

印刷業の話

徳永直

印刷業は、比較的婦人の現在の能力條件を以てしても出來易い職業であります。この印刷業に就て、婦人はどの程度までの能力を持つてゐるであらうか、また、從來婦人諸君が男子の領域をどの程度まで、占領して來たであらうか等に就いてお話をしませう。

何處が一番盛か

日本の印刷界で、一番重要な地位を占めてゐるのは、やはり東京であつて、大阪になるとグット落ちます。(東京でも、博文、秀英、日清、凸版、東洋は、震災前までは特に五大會社と云はれ、全日本の印刷能力の二割を保持すると云はれてゐました)大阪の次は福岡、愛知、京都、仙臺、神戸、横濱、熊本と云つた順でありませう。教育地であるほど盛んなやうです。

震災當時、出版界は大阪に移るだらうなど云ふ人がありましたが、それは印刷界に全然未知の人の云ふ事です、然し、近頃は、東京で發行する定期雑誌の種類も二三割減りましたし、それに印刷局の復舊と共に、官報他の印刷物が民間からひき上げられたので、一般に不景氣になつてゐます。

給料はどれ位か

給料もその盛んな地ほど高くて、東京では、平均植字工三圓五十錢、文撰三圓内外で、解版(女工)は平均二圓四五十錢位です。大阪は、植字工二圓八九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十錢、文撰二圓五六十錢、解版は二圓內外で、京都、神戸は殆んど同じで、仙臺、福岡、熊本はそれからまた二割方も落ちてゐます。

以上はこの印刷業に主要な部分、婦人諸君の多い地方でありまして、東京ではまたこれ以外の製本、製函、活字鑄改等殆んど、婦人ばかりで行るやうな仕事があります。これは前者に比べれば、それ程の技術を要しませぬ。從つてタイピスト以外は給料も二割方落ちます。

印刷工は、大體に於て植字工と同じでありますが、面白い現象は、この印刷上の餘計に機械化してゐないところほど高い、例へば熊本や長崎などの大阪製の機械を使用するところは、一般に植字工より印刷工の給料が高い、東京、橫濱の如き、舶來製の機械を使用する土地では、却つて植字工より一割方も落ちてゐることです。

序でに、入りたての頃と一人前に成つてからとの給料の比較表を示しますと、大體次の樣なものです。

名稱	入込 十三四歲	當初 十七八歲	一人前	一人前になる年數
植字工	〇、三五	—	三、五〇	五年
印刷工	—	一、二〇	三、〇〇	四年
解版工(女)	〇、七〇	〇、九〇	二、五〇	三年
文撰工	〇、七五	一、〇〇	三、〇〇	三年
製本工(女)	〇、三五	〇、九〇	一、五〇	半年
鑄造仕上工(女)	〇、七〇	〇、九〇	一、五〇	半年
タイピスト(女)	〇、七〇	〇、九〇	二、二〇	三年

ざつと以上のやうなものですが、これはほんの見當でして、その會社の情實によつて少しづゝの差違はあります。東京では非常に分業的になつて、植字工の如きは、上手に立廻れば、二十歲以上の人ですと、二三年でなれることもあります。またタイピストとあるは、タイプライタアを扱ふものではなく、モノタイプを使ふ人のことで、東京では、女工の人は殆んど僅かで名古屋あたりでは、女が多いそうですが、內務省では、また女のモノタイプを使ふことを許

してないそうです。

女工の發展狀態

　女工さんの、主要な領域は、解版で、その中に、ルビ返し、假名やなどの附屬があります。全東京の出版印刷從業員約八萬人と稱せられてゐますが、うち女工は四割もあるでせう。(製本、製函は家庭の工業として多數の婦人が働いてゐますから、工場内では左程現はれてゐません）その中には、極く少數ですが、文撰や植字などに女の人がちよい／＼あります。この人達は比較的頭腦がよく器用です。歐州戰亂後一寸增えるやうな傾向がありましたが、また近頃は勞働豫備軍の充實のため現狀維持の姿にあります。地方になりますと、女の文撰などが可なり多いやうです。特に關西、九州方面はそうです。

　十年ばかり以前は、解版でもなんでも男がやつたものでしたが、現在は解版は絶對的に女になつてしまつたやうです。今後文撰の如きは、隨分女の占領するところとなるでせう。

　何にしても、文撰にしろ植字にしろ、女に好適な仕事です。給料も比較的高く、興味の多い美術的な仕事です。私が若しか金持になつたら、讀者諸君のために養成所をこさへて、お敎へしませう。

現在女工の勞働時間

　現在の勤務時間は、一樣に一日十時間で、延長普通二時間で朝の七時頃から、五時頃までゞす。(新聞社は除外例です）資本家の方で警視廳に屆ければ、また月に一週間だけ四時間づゝの延長が出來ます。延長時間は五割が普通です。

　女工さんのうちには、未婚者が約七割、既婚者が三割といふ狀態で、特に解版の如きは既婚者が多數です。子供が出來ても働く人が可なりあるやうです

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

女中制度の問題を、続いて本號でとり扱ふ筈でしたが、原稿がまにあひかねました。漫畫だけおさきに失禮といふ工合になつた次號です。次號に、皆さんの御寄稿をもたのみます。女中問題は、どう解決さるべきだとお考へになりますか。

が、日本の託兒所も早く完全になつてくれなければ、こんな人達は困るでせう。

理想の世界が出現する頃には、この印刷業といふ産業部門は完全に女の方々に握つて欲しいと思ひます。

左にこの印刷業の主要部門の概略を掲げて終りにします。

出版印刷業の主要部分

- 一製版部
  - 普通製版｛植字、文撰、解版、校正、差換
  - 歐文製版｛以上同ジ
  - モノタイプ｛タイピスト、差換、
  - ライタイプ｛其他、
  - 寫眞版｛寫眞工、模寫工、焼付工、其他
  - 電氣版
  - 亞鉛版｛鉛版工、其他
  - 木版｛畫工、彫工
- 活字鑄造部｛鑄造工（トムソン係、カステング係）鑄込工、仕上工、其他
- 製本部｛斷裁工、折工、その他
- 製函部｛前と同じ
- 印刷部
  - 普通－刷工、補助工、員數係、その他
  - 石版－前に同じ
  - オフセット－前に同じ
  - 輪轉　前に同じ

職業に就いての御相談に應じます

苟くも、職業婦人は、今後事情の許す限りその人に適した職業を撰ぶ必要があります。然し、如何なる職業がどう開かれ、どう進んでゐるか。その現狀を知らないでは撰擇することが出來ません。ソコで本誌は、皆樣の職業撰擇の相談相手としてこの欄を設けました。梅山氏は、早くから婦人職業に就いて、研究と調査を進めてゐられる方です。

▲質問者は必ず三錢切手封入のこと。
▲その代表的なものを、一般讀者の參考までに誌上に掲げます。

職業婦人社內　婦人職業相談所

擔當者　梅山一郎氏

彼女

今野賢三

夜更けのせゐか乘客も少なくて、なんとなく車內がさびしく感じられる省線の電車のなかで、ふと彼女は眼をあげる。

メリンスの小さな包みを小わきに抱いた彼女のわびしさうな顔を、電燈のあかるみがやさしくいたわる。

ガタンとはげしく車體がゆれて、彼女の眼がちよつと驚きを見せると、電燈のひかりが、(なんでもないよ、心配おしでない!)とさゝやく。

彼女の眼は、思はずその電燈のひかりを懸命に吸ひ寄せる。

(あたしの、今夜の恥かしさや腹立たしさがおまへにはわかつて?
エ! わかつて?)

ひかりは口をつぐむ。なんにもわからないのだと言つてゐる。

(なぐさめてくれぬなら、あたしの胸のなかまで見透してくれなきや

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

いけないわ……）

けれども、ひかりはたゞ、顔から胸へやはらかに愛撫するだけである。

不快な思ひ出がすぐにひろがつてくる。

彼女がまいにちかよつてゐる、カフエーのなかの眼まぐるしいはなやかさが見えてくる。

あの帳簿のところの蓄音機の音が聞える。おびたゞしい客の顔がたゞよふ。洋食がはこばれる。ビールが注がれる。同じなかまの、きぬさんや、しげさんや、あやさんや、初枝さんやが、あかるい灯の波を泳ぐやうに、チラ〳〵と行つたり來たりする。笑ふ顔がある。食器がカチ合ふ。ゾロ〳〵と出てゆく。また這入つてくる。彼女たちの氣持はあはたゞしくはたらく。ほつとした疲れを感じる。それは何とも言へない、ぐつたりとした張りの拔けたやうな疲れである。

けれども、さうした疲れを感じてゐるとき、誰か、顔見知りの客——こゝろを惹かれてゐる誰かゞ來てくれたら、思はずはしやいだ氣持になつて、疲れが、やわらかな微笑に崩れるだらう。その客が、自分の番にうまくあたつたとき、人知れず顔を染める。胸がときめく。が、しかし、あくまでもそれを胸に包んで、氣どられないやうにひやゝかに裝ふのがつねなのだ……。

さうした顔なじみの誰かが、客のなかに見出されないときの、疲れは、ひとしほはげしく感じられる、空虚な、わびしい氣持もいつしよになる……。

（まア、なんといふ今夜だつたらう！）

不快な、暗い氣持が彼女の胸に喰ひ下る。電車のなかまですつかりくら――くなつてくるやうな氣がする。おい、なんといふ電燈のひかりがにぶくなつたことだらう。しよんぼりして、眼を瞑つてゆくやうである。

（あたしを最うなぐさめてくれないの？）

かう彼女はうつたへる。

なんにもこたへがない。

胸は悲しみに震えてくる。

不快な――その場面がまざ〳〵と見える。

それは若い大學生らしかつた。見なれない二三人が打ち連れて這入つた。丁度彼女の番だつたので注文をきゝに行つた。學生たちの顔に、にがい表情があらはにうかんだ。それでも、そつけない言葉が注文を言つてくれた。が、學生たちの眼は、彼女のうしろにすばやくはたらいた。その眼はにつこり笑つた。

なにかをうしろに囁やいた。彼女はふとふりかへつた。なるほど、きぬさんが微笑をもつてこたへてゐた。彼女はわかつた。（學生たちはきぬさんをもとめてゐるのだと。美しいきぬさんを！）

それから間もなく會計となつた。學生たちは、腰を浮かしてゐた。彼女がそばへ行つた。するとなんといふことか、學生たちはジロリと蔑視をなげて、にが〳〵しげに顔を反向けた。そしてまた腰を下した。それから彼女のうしろに滿面の微笑を送つた。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

彼女にはすぐにわかつた。うしろにはきぬさんがあらはれてゐたのだ……

彼女のあたまに、自分の顏のみにくさがすばやくひらめいた。思はずためらつてあとへすさつた。恥かしさに顏が火のやうにほてつた。

學生たちは、最うむき出しにきぬさんを眼で呼んだ。

……きぬさんが會計をうけとつて、要領を得たお世辭の微笑をふりまいてゐる間、彼女はずーとはなれて、ぼんやりながめてゐなければならなかつた。

學生たちは元氣よく立上つた。チップの銀貨が、きぬさんの手へほうり込むやうにしてテーブルにおかれた。

彼女には一切がわかつた。どうしてその場面をまともに見てゐられよう!

彼女は思はず顏を伏せた。(わづかなチップでも、自分にはくれまいとしてゐるのだ、と、さうハッキりわかつた)

學生たちはゾロ〳〵と彼女のかたはらを通つた。

輕蔑の視線が、まともにその顏になげつけられた。

彼女は、もう腹立たしいやうな、反抗的な、悲しい、情けない、ゐたゝまらない氣持を感じてしまつた。

きぬさんは?……はなやかに笑ひ崩して、彼女のそばへ近寄つて來た。

彼女はたまらなくなつてなんにも言はず、すぐにその場から姿をかくすやうにして、人眼のないところへはなれた。たつた一人で泣ける暗い部室がほしかつた。あいにくなかつた。それで彼女は懸命

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

にこらえた。あらゆる苦しい心持をこらえた……

　さうしたことは彼女にとつて、これがはじめてゞはないのである。醜くい、貧しくうまれた自分の運命を、さだめられたものとしてあきらめては來たものゝ、どうして、どうして、今夜のやうな場合、反抗心を燃やさずにゐられようか！

……電車は原宿をはなれる。乘客がめつきり少くなつてゐる。彼女は、思はず袂で自分の胸を抱く。鏡にあり〱と映るやうに自分の顏が見える。（なんといふ不幸だらう……）と、心が呟く。すると、（いや！）とはねかへる。（たとへ醜くゝとも美しくとも同じ女だ！）とかう思ふ。金の力をふりまわす學生たちの顏がたまらなく憎らしくなつてくる、同時に、最うこれつきり、どんなことがあつても、明日からカフエーへは行くまいと決心しようとする。

　わびしい電燈のひかりが眼を開いた。そして彼女をしげ〱と凝視める。（可愛想なものよ、おまへのわづかな金でも便りとしてゐる年老ひた兩親はどうなるか？、そしておまへは、身のまわりのものを今のやうに自由に買ふことが出來るか？、たとひ白粉一つでも……）

　さうさゝやきながら、電燈のひかりは、今歸つて行く暗い家庭を彼女の前にまざ〱と描き出す。拔けごころのない暗さ——が彼女のあたまをいつぱいに滿たして了ふ。

　彼女は思はず、そつと袂で眼を拭く。するとこらえてゐた、こらえてゐた涙が、一つぺんに胸に突きあげてくる……

　彼女はその涙のうちで、自分が最うたまらなくいとしくなる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

間もなく彼女の心持は、はねかへる。涙のなかからはねかへる。
（あたしだつて同じ女だッ！　貧しいからこそ！）
かう心のなかで叫ぶ。
電燈をきッ！　と凝視める。元氣よく彼女は顔をあげたのである。
電燈は打解けて微笑する。あたゝかな兩手で抱くやうに微笑する。（そのとほり、虐げられるものはあくまでも反抗に生きるんだ！）と強い言葉をなげる。その胸に、ほんたうに明るいひかりを漂はす。
……と、車體がはげい衝激にゆれる。そしてぴたりと止まる。それは彼女が降りる澁谷驛に來たのである。すると小さな包みを小わきに抱えた彼女の姿が、靜かに電車のなかゝら消えて行く……。

（終り）

値下げ斷行につき以後雜誌代は必ず前金でお拂込み下さい。

▲編輯室より▼

○今月から、表紙を新しくとり換へて、編輯の上にも思ひ切つた改革を試みる積りでしたが、いろ／＼の事情で非常に忙しかつたので、出來上つたものは不滿足な點が多うございます。どうぞ來月號をお待ち下さい、

表紙を下さつた野口久雄さん、村雲毅一さんのカット、何れも版屋の都合で、本月號にまにあはなかつたのを殘念に思ひます。お禮とお詫とを一緒にしてこゝで御挨拶を申上げます。

○いはゆる婦人雜誌が、いま非常に動揺を來たしてゐると云ひます、讀者がこれ迄のやうに無批判に、大なる新聞廣告につられて買つてゆく事から、大分批判的に考へて來たらしく、賣行がぐらついて來たのださうです、さうあるべき事です

今までは、チョーハツ的な新聞雜誌の記事が婦人を動かしてゐた觀がありましたが、これからは、婦人の要求や趣味が、新聞や雜誌の水準を引あげてゆかれねばならないのです。

寄贈雜誌

新興婦人	婦人公論
家庭週報	主婦倶樂部
社會思想	ウーマン、カレント
政治研究	社會主義研究
機械聯合	マルクス主義
潮流	新使命
教育文藝	新人
啓明	教育の世紀
選民	文化運動
時代	人と人
家庭科學	自動道話
光	ワシラノシンブン
詩と人生	愛國新聞
急進	政治と青年
文藝戰線	國際勞働局々報
國際智識	勞働者新聞
進め	婦女新聞

定價

一部	金二十錢	郵税五厘
半ケ年	金一圓二十錢	不要
一ケ年	二圓四十錢	不要

廣告料

特等	一頁	四十圓
一等	一頁	三十圓
二等	一頁	二十圓
	半頁	十圓

四回以上割引あり

御注文は總て前金で願ひます。御送金は振替に御拂込み下さい郵劵代用の際は一割増の事（一錢又は五厘切手にて）誌代の領收書は別に差上げません雜誌發送を以つてこれにかへます。

大正十三年十月廿九日印刷納本　第二卷
大正十三年十一月一日發行　第七號

編輯發行人　東京市外巣鴨町一〇一九　奥むめお
印刷人　東谷市外下澁谷五三三
印刷所　株式會社弘榮社
發行所　東京市外巣鴨町一〇一九　「婦人と勞働」職業婦人社　振替東京六四一六〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

早稲田大學

高等女學講義

早稲田高等女學講義は、短日月の間に文部省令による高等女學校の全科を修學せしめるために編纂されたもので、その效果の確實なことは、謂ゆる專檢試驗に合格した方がこの講義錄の講修生から既に多數出て居ることによつても立派に證明せられます。一度專檢試驗に合格すれば、女子高等師範學校、女子大學、女子醫學專門學校などへの受驗資格も完全に與へられ、進んでは中等教員の試驗にも應ずることが出來ます。進んでこの文化的な教育機關を御利用下さい。

文學講義

新時代は近づきました。愈々婦人の活動すべき時代がまゐりました。この時に當つて一般婦人が第一に用意すべきことは、言ふ迄もなくその特質として備つてゐる愛を、感情を傷けずに、之を擁護し、發達させつゝ廣く、深く新知識を獲得することでなければなりません。本講義はこの要求に應ずる爲め、一般婦人が人として女として眞に必要なる根本的知識を授けると共に、その感情を培ふための文藝を如何にして味ふべきかを教へることに努めてをります。

政治經濟科　法律科　中學科　商業科

◇各科とも新學年開始――內容見本申込次第送呈◇

東京早稲田　牛込

早稲田大學出版部

電話牛込　三四五番・三四六番・三七四八番・三七四九番

大正十三年十月二十九日印刷納本
大正十三年十一月一日發行
婦人と勞働 第二卷第七號
定價金貳拾錢
職業婦人社發行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN